

★ 化学合成からスケールアップ、精製、関連するガイドラインまで包括的に解説！

★ 高コスト・高廃棄物という課題に挑戦する触媒技術！

セミナー№.602106



ペプチド医薬品製造の スケールアップと低成本化を目指した合成法

●日 時: 2026年2月25日(水) 13:00~16:15

●聴講料: 1名につき 49,500円(消費税込、資料付)

●会 場: Zoomを使用したLive配信セミナーです。

[1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき44,000円(税込)]

勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。

[大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]

1. ペプチド原薬製造の

スケールアップ時の留意点

シンクレスト(株) 研究開発部 部長
【13:00-15:00】
久保 大輔 氏

【講座主旨】
低分子医薬品とは異なるペプチド原薬の製造に焦点を当て化学合成からスケールアップ、精製、関連するガイドラインまでを包括的に解説します。
ペプチド原薬開発における実践的な知識について提供します。

1. ペプチドとは

- 1-1 ペプチドとは何か
- 1-2 ペプチド医薬品の現状

2. ペプチド合成方法

- 2-1 液相合成
- 2-2 固相合成
- 2-3 疎水性タグを用いた合成

3. ペプチド分析方法

- 3-1 分離モードとカラム選定
- 3-2 LC-MSによる不純物解析
- 3-3 工程分析手法

4. ペプチド精製方法

- 4-1 ペプチド精製工程の流れと特徴
- 4-2 分析条件から分取精製へのスケールアップ

5. ペプチド原薬製造のスケールアップ時の留意点

- 5-1 ペプチド原薬の品質確保のための考え方
- 5-2 原料アミノ酸の品質管理
- 5-3 製造プロセス検討で考慮すべき項目
- 5-4 ペプチド合成における不純物

6. ペプチド医薬品の

ガイドラインにおける位置づけ

2. 逆伸長型ペプチド合成法 ～低成本・低廃棄物・大量合成への挑戦～

産業技術総合研究所 触媒化学研究部門
【15:15-16:15】
研究グループ長 生長 幸之助 氏

【講座主旨】
ペプチド医薬品の大量供給には効率的な合成法が不可欠です。従来のC末端→N末端伸長法は高コスト・高廃棄物という課題を抱えています。本講座では、逆方向のN末端→C末端伸長型ペプチド合成法の開発と、その低環境負荷・高効率性を実現する触媒技術について、弊所環境の紹介も含めて解説します。

1. 産総研の概要

2. 逆伸長型ペプチド合成法

3. 生物分野との連携を目指した取り組み

| | | | |
|------|------|----------|--------|
| 会社名 | | 事業所・事業部 | |
| 住所 | 〒 | | |
| TEL | | 携帯電話 | |
| | 所属部課 | 氏名(フリガナ) | E-mail |
| 受講者1 | | | |
| 受講者2 | | | |

今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください)
〔郵送(宅配便)・ショートメッセージ(携帯電話)・e-mail〕

個人情報の利用目的

・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため
・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため

●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂くことがあります。

4. 定員になり次第、申込みは締切となります

セミナー申込書

「ペプチド医薬品」セミナー

No.602106

2/25